

東奥日報

2021年(令和3年)12月23日(木曜日) (22)

中心街発展に学生の力

八工大 サテライトオフィス開設へ

八戸工業大学(坂本植智学長)は来年4月、八戸市中心部のオフィスビルにサテライトオフィスを開設する。ビルを所有する同市の総合建設業・田名部組(田名部智之社長)と八工大が22日、基本協定を結び、寄付講座の開設や共同研究などの産学連携プロジェクトを進めることを確認した。(三好陽介)



サテライトオフィスが設置される協栄八戸番町ビル(左)。右奥は八戸市美術館

田名部組と連携 寄付講座、共同研究



締結式に臨んだ坂本学長(左)と田名部社長

サテライトオフィスは、八戸市美術館の向かいにある「協栄八戸番町ビル」(同市番町)1階に設置する。面積は285平方メートル。内装デザインを担当する八工大感性デザイン学部(宇野あずさ)助教によると、市民向けの公開講座や学生の発表などの活動が外からも見えるような構造を検討しているという。

田名部組は5年前、八工

大の所有地で太陽光発電事業を始め、両者の連携がスタート。来年度後期には寄付講座を設置し、産業など地域に関わる講義を行うことにしている。

22日、八戸市の八戸パークホテルで締結式が行われ、坂本学長は「来年の大開設50周年を機会にさらなる地域貢献を誓っている。今回の連携を通じて中心街の発展や産業振興、人材育成に努めたい」と述べた。

田名部社長は「中心街を学生が行き交うことが街にぎわいには必要。これからも八工大とタッグを組んでいきたい」と語った。

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」